

議会運営委員会

【若林 志津子 委員長コメント】

6月定例会開会日に、令和2年度に検討した、富士宮市議会基本条例と会議規則の一部改正が可決されました。

条例の改正は、一般質問を深めるため当局の反問に「対案の提示を求める」を加えるもので、規則の改正は、議員が欠席の時は「事故」としていましたが、「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助」とし、想定できる全てを明記しました。

また、産前産後の日数を8週間と具体的に決めました。若い女性が議員となっても安心して出産を迎えられます。

今後は市民の皆さんにより分かりやすく、身近に感じていただける議会とするよう取り組んでまいります。

ワクチン接種が進んでいますが、感染症の市内発生状況次第により感染対策を取り、9月定例会を無事に開催できることを望みます。



総務文教委員会

政策課題

●公立中学校制服選択制の導入について

【齋藤 和文 委員長コメント】

政策課題について、各会派より多くの課題案を提出してもらい検討した結果、2つの会派より提出された「公立中学校制服選択制の導入について」に決定しました。

理由としては、防寒対策や気候・機能性に合わせた選択が可能となり、さらに性別に関係なく自分の意志で選択が可能になること、トランスジェンダー等への配慮も可能となることなどがあげられます。

全国的には制服の選択制の議論は広がりを見せており、県内の公立中学校や富士宮市内の私立中学校においても導入が始まっております。今後委員会の中でこの議論を深め、全公立中学校での導入を目指してまいります。

また、「教育のデジタル化」、「パートナーシップ制度の導入」など、他の課題案については所管事務調査として調査を行う予定です。

